

スポット Ogaki

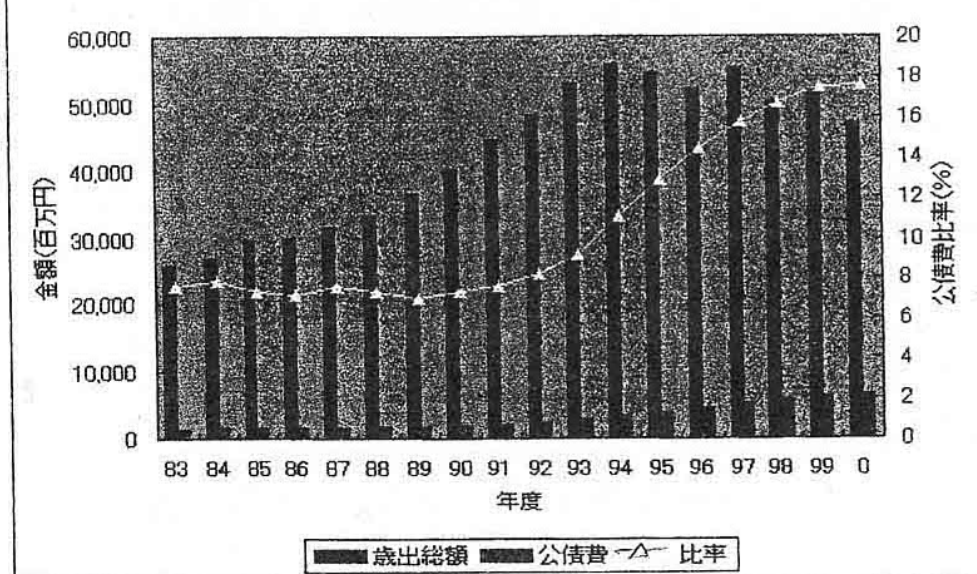
発行：日本共産党 西濃地区中央支部
 発行年月日：2002.12.13 NO2
 連絡先：大垣市鳩部屋町41
 Tel.78-6865 Fax.73-8572

こんにちは、日本共産党です。私たちのまちで、今何が起きているのか、その時々の問題にスポットライトを当て、皆さんと一緒に考えていきたいと思えます。

大垣市の財政は・・・

19年前の大垣市の財政は比較的豊かで地方交付税の不交付団体でした。しかし90年代、武道館など大型公共事業で公債費が急速に増加し、ここ2～3年は公債費比率が16%以上となり、また税収入の減少と合わせて、経常収支比率は80%以上となっています。そのため、大垣市の独自の事業が行われず、乳幼児医療費の助成制度など、県下最低クラスになっています。

図2、公債費及び公債費比率の推移



合併特例債に手を出すことは借金地獄になること

合併研究会は、特例債による「臨時財源」と人件費等の削減による「余裕財源」合わせて、合併後一年目で百六億円、一〇年目には一六一億円の投資可能財源ができると予測しています。しかし、一〇年間で七〇〇億円使えるとしている合併特例債は国と自治体による借金です。今でさえ借金で苦しめられている大垣市です。更に借金地獄に陥ることは目に見えています。立派な市庁舎で借金地獄になるか、庁舎は古くても、三十人学級やお年よりが安心して暮らせる街にするか、大垣市民の選択にかかっています。

ことば広場
 合併特例債（地方債）・・・道路、橋りょう、運動場など
 合併に伴う公共的施設の整備事業や、市庁舎など類似の
 目的を有する公共施設を統合する事業が対象となる。

スポットOgaki、日本共産党に対するご意見・ご質問等は、こちらでもけっこうです。
 日本産党・笹田トヨ子事務所：☎ 81-1381
 ホームページ <http://www.sasada-toyoko.jp/>
 E-mail sanba1@sasada-toyoko.jp